

沖縄の水を支える北部のダム水源地域の取組

安全で安心な水を守っていくために

はじめに

水資源開発による安定供給可能量の増加

「水」
皆さんが普段飲む水は水道の蛇口をひねれば、当然のようにすぐに出てきます。今ではほとんど不自由を感じることも無く使うことのできる水ですが、昔から沖縄ではほんの一口の水を得るために、大変な苦勞をしてきました。

昭和47年の本土復帰以降、沖縄振興計画に基づき、10の多目的ダムが建設されてきました。復帰当初はほぼ毎年のように給水制限がありました。ダムの建設と共に水事情は改善され、平成6年度以降は給水制限はありません。

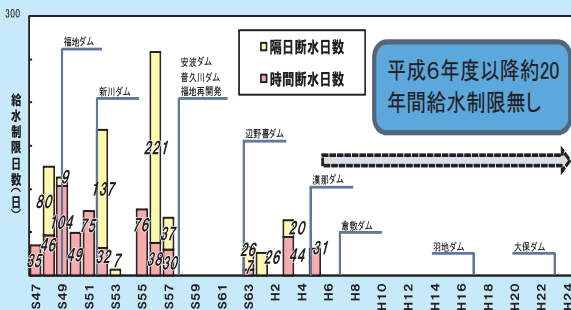
その結果、安定的に供給できる水は大幅に増加し、平成6年度以降は少雨傾向になっても給水制限に入ること無く、県民の生活や産業を支えています。主な水がめであるダムは、ほとんどが山間部である北部やんばる地域に建設されており、そのダムや川の水が人口の多い中南部地域に送水されています。

これからも安全で安心な水を守っていくため、県民全体で水源地の北部やんばる地域を理解し、育んでいくことが重要です。

今回、その一環として森と湖に親しむ旬間における水源地域の取組を紹介致します。

皆さんもぜひ北部やんばる地域に足を運び、様々な取組を通じ、水源地を直に体感してみてください。

ダムの整備と給水制限日数の推移



沖縄の水資源開発の特長

「北水南送」

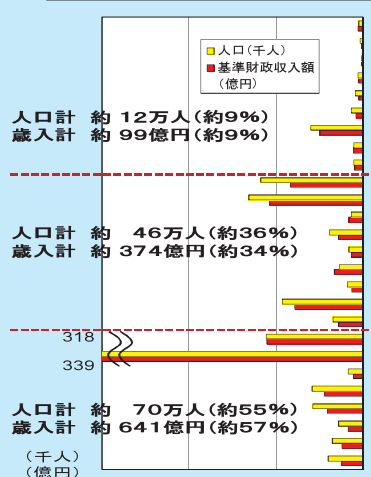


沖縄本島は主に北部地域は山間地、中南部地域は丘陵地の地形となつているほか、中南部は水を貯めにくい地質である石灰岩が広く分布しているため、ダム建設に適さず、水資源開発の大部分は北部地域で実施しています。

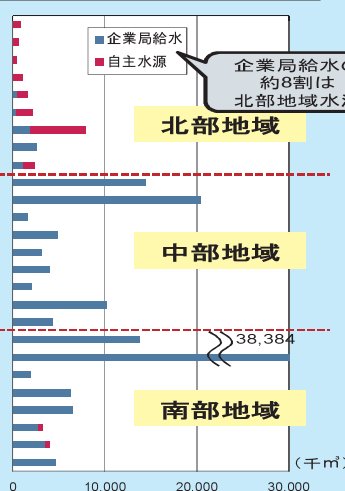
沖縄本島で使用する水の約8割は北部のダムや河川から取水されていますが、その一方で、人口及び経済は中南部に集中しているため、北部で取水した水を中南部に送水し消費する「北水南送」と呼ばれる構図となっています。

北部地域の水により沖縄本島の発展が支えられているのです。

沖縄県本島における基準財政収入額と人口



沖縄県本島における市町村別給水量



給水量: 各市町村・水道企業団への水道水給水量 (H23)
自主水源: 各市町村が持つ水源

企業局給水の約8割は北部地域水源

沖縄本島の生活は北部地域の水に支えられているんだね!

※ 基準財政収入額の算定となるのは、法定普通税を主体とした標準的な地方税収入

※ 出典 「水量資料記録集(沖縄県企業局)」
「H23沖縄県の水道概要」「南部水道企業団資料」より、
沖縄総合事務局河川課作成

沖縄北部ダム湖サミットで共有された理念・方針

- やんばるの貴重な自然は沖縄の宝であり、本島における貴重な水資源でもあることから、県民全体で森を守り、水を守ることが重要。
- 水源ややんばるの自然やダム湖の魅力を活かした活動を通じて、森や水の大切さを広く認識してもらえるように努力。
- ダムの存在する北部地域の連携のみならず、中南部地域との交流・連携を促進。



やんばるの自然を知る



水の大切さを学ぶ



自然を体で感じる



緑を育てる

金武町にある金武ダムが平成26年度から供用開始し、沖縄本島で計画されてきた水資源開発の節目を迎えるに当たって、去る2月22日（土）に「北部ダム湖サミット」を開催しました。これは今まで建設してきたダムによる安全で安心な水を確保すると共にダムを地域の資源として活用していくダム水源地域ビジョンの実現を目的として開催したものです。ダム所在市町村長や中南部市町村代表、及び観光関連代表や水道事業関係者等の参加のもと、様々な意見が出され、最後に「沖縄北部ダム湖サミット宣言」が取りまとめられました。

今後、水源地域である北部地域の連携のみならず、中南部地域との交流・連携を促進し水源ややんばるの自然やダム湖の魅力を活かした活動を通じて、森や水の大切さを広く認識してもらえよう努力することとしており、水源地域ビジョン（※）の実現によりダムを地域資源として活用していきます。（以下に具体的な取組を例示）

次ページではビジョンの二環となる「森と湖に親しむ旬間」における各地のダムまわりの情報をお届けします。

○億首川フロムナード

億首川周辺にはヒルギ科を中心としたマングローブ林が広がり、カニやエビ、貝などの多くの生物を観察することができます。また、隣接する自然体験学習施設「ネイチャーみらい館」では、カヌー体験や田んぼ遊び、キャンプなどが楽しめます。



○やんばる学びの森

平成19年7月国頭村環境教育センター「やんばる学びの森」として、安波ダム近隣にグランドオープン。この施設では、宿泊施設やオートキャンプ場等が整備されており、いろいろなツアープログラムが準備されています。ジャングルカヌーツアーは、カヌーを漕いで安波ダム湖上流へ進み巨大なシダの森を抜け渓流での川遊びや川の生物を観察します。バードウォッチングでは、ヤンバルクイナやノグチゲラ他、多くの野鳥に出会うことができます。



やんばる学びの森



ジャングルカヌーツアー

○東村村民の森つつじエコパーク

福地ダムの近傍に平成14年から運営している「東村村民の森つつじエコパーク」では、五感で体験できる様々なメニューが用意されています。

オートキャンプ場やバンガローなどの宿泊設備が整備されており、PA（プロジェクト・アドベンチャー：冒険教育）や福地ダム湖等でのカヌー体験など、修学旅行などで多く活用されています。



PAプログラム

バンガロー

マングローブカヌーツアー

○大保ダムでサマーキャンプ!!

大保ダムぶながや館を拠点にエコツーリズム等の活動をしているNPO法人おおぎみまるとして、大保ダム広場でキャンプを実施しました。大宜味村内での民泊体験をはじめ、地元の子供たちと交流した後、大保ダム広場では



満天の星空を三線の生演奏が流れる中、芝生に寝転がって見る大自然のパノラマを満喫しました。

○羽地ダムで「富良野自然塾」を開催!

ドラマ「北の国から」でお馴染み倉本聰さん（塾長）の「富良野自然塾」では、その名のとおり、北海道富良野を中心に環境学習の活動をされています。

この度、名護市観光協会の呼びかけで、今年4月23日（日）に羽地ダムでの開催が実現したものです。羽地ダム湖畔を歩きながら「空気・水・土」をキーワードに自然の大切さを体験、ダム下流広場で桜の苗の植樹が行われました。



○かんなパークゴルフ場

宜野座村では、漢那ダム下流エリアの活性化のため「リバーパーク構想」を推進しています。その第一弾として「かんなパークゴルフ場」が昨春秋にオープンしました。



週末など、現在多くの方々に利用されています。

◆国土交通省及び林野庁は、毎年7月21日から31日までを「森と湖に親しむ旬間」と定めています。

◆この旬間は、昭和62年度より開始され、国民の皆さまに森林や湖に親しむことにより、心と体をリフレッシュしながら、森林、ダム等の重要性について関心を高め、理解していただくことを目的としています。

◆沖縄においてもダムや水資源等の重要性について広く理解していただくとともに、ダム所在地域の活性化に寄与することを目的に、各地で「ダムまつり」を開催しています。



鯉のぼり掲揚とエイサー演舞



カヌー体験



多くの来訪者で賑わう(うなぎのつかみ取り:羽地ダム)



親子木工教室



堤体等ダム見学会(各ダム)

北部のダムまつり紹介

森と湖に親しむ旬間に関連して、ダムまつりが各地で開催されます。親子で楽しめるメニューも数多く用意されています。

※各まつりの実施内容については、巻末に掲載のチラシ及びHP(「開発建設部森と湖に親しむ旬間」で検索)を参照ください。



大人気!
うなぎのつかみ取り



ダム堤頂を泳ぐ
鯉のぼり



ダム湖噴水を眺めながら
カヌー体験



羽地大川生き物探検

来年のお越しをお待ちしています。

羽地ダム鯉のぼり祭りは今年で21回目を迎え毎年GWに開催されています。ダム周辺に掲揚されている約350匹の鯉のぼりは勇壮です。さらに地域の歴史、文化などを学びながら10キロのコースを歩く「羽地ジンブンウォーク」や羽地大川に生息する生き物を観察する「羽地大川生き物探検」など、多くのイベントが催され、今年は2日間で延べ約25,000人の来客者で賑わいました。

羽地ダム鯉のぼり祭り
開催時期: 5月3日(土)~4日(日)



大保ダムまつり

開催時期：7月5日(土)



大保ダムまつりでは川遊びや湖面カヌーツアーの他、湖面遊覧体験、貝殻ランプづくり、木工教室、陶芸教室などの体験教室が催されます。

学習の川遊びでは鉄砲水体験も企画していますので、この機会に「水の強さ」を体感してみたいかがでしょうか。また、今年は夜の部として、塩屋湾にて「キャンドルナイトinサーベイ」が開催されます。住民手作りのキャンドル船(筏)を塩屋湾に浮かべた情景が幻想的な世界へあなたを誘います。



陶芸教室



学習の川遊び(鉄砲水体験)



貝殻ランプづくり



木工教室

キャンドルナイトinサーベイ
(第4回 白浜ナイトキャンドル)
7/5(土) 18時30分～21時00分
★点灯19:30 消灯21:30
～塩屋湾に浮かぶキャンドルの灯りでスローな夜を～
★実施場所：塩屋湾及び外周
★メイン会場：白浜区民会館
18:30 会場までのバス
19:30 クラダンス
20:00 塩屋湾観光大会
21:00 観客エッセイ
塩屋湾エッセイ

漢那ダムまつり

開催時期：7月20日(日)



漢那ダムまつり人気メニューの一つであった、自然体験ツアーが復活します。

第二貯水池を環境ガイドが案内しますので、水辺の生き物について学習できる絶好のチャンスです。他にもカヌー体験やダム堤内見学、親子木工教室など、体験型の多彩なメニューを用意しています。



「漢那ダム自然体験ツアー」が復活!!



大人気のカヌー体験



親子木工教室



ダム堤内見学会



丸太切り競争



島ぞうり彫り体験

福地ダム「夏休み自然体験会」

開催時期：8月16日(土)



福地ダムでは、「夏休み自然体験会」を開催します。

ダム湖面でのカヌー体験、自然観察船(ゴンミキ号)での湖面遊覧や、ダムの下流河川での川遊び、リュウキュウアユなどの生き物観察会などが催されます。

ダム堤体に設けられたウォーターズライダー(すべり台)は、子供たちに大好評です。



自然観察船(ゴンミキ号)



ウォーターライダー



カヌー体験



生き物観察会



ダム施設見学会

湖水友の会募集中!!

友の会に入会すると、各種イベント情報や、ダムまつりなどの優遇メニューがあります。会員登録は、【住所、氏名、年齢】を下記のアドレスに送信するだけ。



hddten910@ogb.cao.go.jp



これが幻の滝シゲラファアの滝だよ(写真右側)



ダムの中(監査廊)に進入!



やんばるの自然いっぱいイベント



ダム湖遊覧は気持ちがいいよ～

安波ダム・クイナまつりは、沖縄本島最北端で開催されるダムまつりで、やんばるの大自然の中、自然体験を中心とした内容が魅力です。やんばるの川遊びができるジャングルカヌーツアーや癒しの森林セラピー体験、ダム湖面遊覧ができます。幻とされる「シゲラファアの滝」が見られたらラッキー!

安波ダム・クイナまつり

開催時期：9月13日(土)



待ってるよ!

これら以外にも水源地域やんばるには見どころが満載です。やんばるの魅力を心と体で直に体感してみたいかがでしょうか?